

# 平成29年度 事業概要

事業名称	概要				評価・所見等
	日程	会場	延人数	内容、テーマ、講師等	
<b>1. 情報の収集・提供に関する事業</b>					
ボランティア・市民活動紹介冊子「ガイドブック」の作成	7月	市内のボランティアまたは市民活動をしている団体の情報(平成29年7月現在128団体)をまとめた冊子(600部)及び一覧表A4版(計2500部)を発行し、団体、福祉施設、学校等に配布及びるーぶらざ・キックス等で閲覧活用した。			ボランティア・市民活動を始めた人に最新情報を提供することで、活動を始めた人、ボランティアを必要としている人(施設・学校等)の良い情報源となっている。また、企業ボランティアの紹介、ボランティアに関する情報を掲載した。
支援センター情報紙「るーぶらざだより」(ボランティア通信)の発行	年4回	支援センター情報紙、春号(37号)夏号(38号)秋号(39号)冬号(40号)の4回発行(各号カラー版1,500部、40号は5,000部)、「ガイドブック」掲載団体・はびえる会員などに配布、各公共施設等に配架、来場者に配布した。			支援センターの行事案内・報告、団体活動記事など色々な情報が掲載できた。冬号はボラフェス特集とし、当日パンフとしても利用できた。
他市施設の調査・研究	11月14日	神戸市立こうべまちづくり会館	14	「阪神・淡路大震災から学んだこと」をテーマに講演していただいた内容は①阪神・淡路大震災の神戸市の被害状況と市民や行政の動向、②災害発生時の救出活動 ③避難所の様子 ④復興期の地域の状況 ⑤予防対策、⑥まちづくり協議会活動が地震時に生じた事例など	阪神・淡路大震災の神戸市の被害状況と市民や行政の動向、復興期の地域の状況 予防対策、まちづくり協議会活動が地震時に生じた事例などが学べ有意義であった。
ホームページの管理運営	通年	センターの管理運営状況の更新、支援センター行事のお知らせ、団体年間行事のお知らせ、支援センター10周年記念に際して10年間の記録等を掲載した。			定期的に更新ができた。当センターの行事や情報が迅速に、また、10周年記念記録が掲載できた。
その他	通年	キックス1階情報コーナー・市役所・フォレスト三日月・公民館等にイベント情報などを通して、団体活動をPRするチラシ等配架、及び、来場者に団体活動情報を提供した。			様々な場所で団体活動の情報の提供及び収集ができた。
<b>2. 学習機会の提供に関する事業</b>					
ボランティア活動入門講座	7月2日	キックス	89	ボランティア魅力発見講座 1部基調講演:すきこそボランティアなれ 2部パネルディスカッション:私にとってのボランティア [くろまろ塾・社会福祉協議会と協働事業] 大阪大谷大学岡島克樹/パネリスト等7名	ボランティアの魅力を理解していただく講座とボランティア団体と受講者が直接対話していただくことで、ボランティアを知ってもらう機会となった。また、今後くろまろ塾と連携していきたい。
ボランティア活動体験プログラム	7月24日～9月28日	キックス・ボランティアセンター・その他	337	対象:市民 目的:各ボランティア団体の活動状況を実際に体験し、ボランティア活動を理解してもらい参加の機会をつくる。実施プログラム数:31、参加団体数:21団体	今年度も河内長野市社会福祉協議会と連携し、協働事業として実施した。子ども向けのプログラムは参加者が多かった。団体の活動を多くの人に知ってもらうことができた。しかし、今年は、参加者数が昨年より減少した。
グループ運営講座	10月27日	るーぶらざ	25	「災害対応・復興で市民団体にできること」①災害時、地元ボランティア、②災害を想定し、また、災害が発生したら何が出来るのか?災害時の活動計画について 講師:兵庫県立大学大学院 紅谷昇平	災害時にボランティア団体ができることを、実例などを基に知ることができた。また、当センターでの団体のアンケート結果も報告でき、今後の防災・災害時における取組の参考になった。
<b>3. 交流促進に関する事業</b>					
市民まつりへの参加	5月14日	赤峰市民広場	センターテント来観者 約700	展示、案内:「ガイドブック」団体一覧表、るーぶらざ・市内中学校活動・自治協働課紹介、ポスター入賞作品、企画等、スーパースポーツ、風船づくり、ハーブティー、鉛入り兜折り紙、ポケットティッシュ、花の種などを行った。	「るーぶらざ」の情報提供資料、団体紹介ポスター等を展示、団体のワークショップ実施、また、啓発用風船を来場者自身に作ってもらうなど子どもから大人まで喜んでもらえ、にぎやかな交流になった。
市内団体交流会/10周年記念るーぶらざまつり	11月20日	るーぶらざ	24(団体14)	市民公益団体同士の交流で団体力のアップを目的に、団体情報交換、団体コロナ事例発表、防災関連グッズの展示紹介	団体同士の交流ができた。また、「るーぶらざまつり」とし「るーぶらざ」の前庭で実施、近隣住民にもPRできた、また、参加者全員が交流でき、新しい出会いができた。
	12月2日	るーぶらざ	約40	①災害用かまどの作り方、②新割り体験、③非常食イゼメン体験を行った。	
ボランティア・市民活動フェスティバル	2月25日	キックス・河内長野野ガ及びるーぶらざ	6,500参加団体:84	目的:参加団体の活動を紹介し、ボランティア・市民活動の啓発及び促進を図る。テーマ:「はじめようボランティア 何もしなければ はじまらない」、内容:市内のボランティア団体の活動紹介、展示・ワーク・フリーマーケット・ステージ、絵画コンクール展を行った。また「キックス」「るーぶらざ」「長野ガス」の3会場で実施した。	今年度も「長野ガス」を会場とし3会場で開催した。参加者も年々増加し、また、参加団体による検査会を行うなどで多彩な催しができた。小中学生の絵画コンクール展の応募は47点と多かった。ボラフェス開催により、市民の方とボランティア団体の交流やボランティアに関する啓発ができた。
<b>4. 相談・コーディネートに関する事業</b>					
ボランティア・市民活動情報提供コーナー	通年	るーぶらざ	来館114名、件数102	ボランティアをしようとする来場者に、相談や団体活動情報を提供できた。また、福祉施設などとボランティア団体のマッチングも行った。	「ボランティアをしたい、探している」の相談が15%、マッチングが16%であった。昨年より相談件数が減少した。今後は相談件数を増やす工夫と共に、相談員の質の向上が必要である。
ボランティアサポーター養成講座	1月17日	るーぶらざ	15	ボランティアとはどういう「存在」なのかを確認。ボランティアコーディネーターの機能と役割を理解し、事例ワークを基にコーディネーターの視点を確認する。講師:大阪ボランティア協会 桜木美緒	「ボランティアに参加したいが、どうしたらよいかわからない」という方への講座で、ボランティアの定義から始まり、実例を交え、基本から体系的に学ぶ機会となった。
相談・コーディネート機能	9月28日	堺市南区民プラザ	1	市民活動の資金調達方法(寄付金集めのポイント、実施する際に必要なこと、実施後にすること)	認定NPO法人箕面こどもの森学園の事例紹介をもとに、資金集めの現状を学ぶ機会となった。
	3月16日	河内長野市役所	4	コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスについて 講師:認定NPO法人大阪NPOセンター高見理恵	コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスとは何か、また、各地の実例について学べた
	3月23日	河内長野市役所	3	法人格取得の意義及び手続き:NPO法人の基本と設立方法、事例を基に法人化の意義と設立と維持について 講師:認定NPO法人大阪NPOセンター明石彩	無差別に法人化するのではなく、必要に応じて法人組織にすることを学んだ。
<b>5. 支援センター管理運営及び事務局の事業</b>					
支援センター管理運営	通年	支援センターの管理運営(各事業・行事)、るーぶらざ設備の提供など			大きな問題もなく遂行できた。また、内容も向上した。
市民公益活動支援補助金サポート講座	2月15日	るーぶらざ	15	講座内容:そもそもNPOが活動する理由、助成金って何?申請書を書く前に...申請書を書くコツ、プレゼンテーションのコツ 講師:吹田市市民公益活動センター「ラコルタ」センター長 柳瀬眞佐子	申請する上で押さえておきたい「企画書を書くポイント」や「予算書の書き方」について等を実践的に学べた。
市民公益活動支援補助金プレゼンテーション講座	3月7日	るーぶらざ	14	市民公益活動支援補助金申請ポイント 講師:認定NPO法人大阪NPOセンター石地恵理子氏	決められた時間内に、いかに有効的に伝えるか。グループワークをし、本番のプレゼンに役立ててもらった。
協働事業提案制度サポート講座	6月21日	るーぶらざ	17	テーマ:みんなでつくる協働のコツとツボ、活動のパートナーを見つけてませんか 講師:認定NPO法人大阪NPOセンター堀野亘求	協働事業について意見交換、協働事業を実現するためのロールプレイで疑似体験、協働シミュレーションなどにより、協働事業について、参加された団体に説明できた。
ステップアップセミナー	9月30日	キックス	45	「LGBTって知っていますか!」 講師:NPO法人Queer&Womens Resource Center近藤由香	性的少数者についての理解を深めることができた。
大学生のインターンシップ受入事業	8月6日～9月14日	るーぶらざ	大学生7	目的:協働によるまちづくりを進める現場において、地域住民の心をつかみ、地域を活性化する方法について、実体験から学ぶ機会を提供。学生のみならず、自由な発想と旺盛な行動力で、新たな交流やにぎわいを生み出して頂くこと。	参加学生に支援センターの業務内容を知ってもらった。また、ボランティア活動体験プログラムに参加することなど、その中で、ボランティアとは何かを考えてもらい、ボランティアに関心を持ってもらう事ができた。
イベント情報の発行	年11回	適宜月初めに発行。タイムリーな記事を掲載。			イベント情報は必要に応じて発行することとした。
から版に掲載	年6回	市商店連合会発行、「わが街ボランティア・市民公益活動だより」に連載			年6回、定期的に掲載できた。
スタッフ研修	通年	るーぶらざ等	延べ7回 人権研修、防災講演、生野区・東成区まちづくり視察、社会人のための「協働」を学ぶセミナーなど		多彩な研修ができ、スタッフの知識の向上につながった。
南河内のつどい	11月25日	大阪大谷大学	60	講演:若者による地域社会参加、パネルディスカッション	一定の効果はあったと思うが、広報に関して更に工夫するの必要を感じた。
救急救命講座	10月13日	るーぶらざ	20	内容:救命入門コース・河内長野市消防本部より2名、主に心臓蘇生とAEDの講習	
自衛消防訓練	1月13日	るーぶらざ	9	消火器・自火報の操作訓練・避難訓練	緊急時を想定した訓練が出来た。
マッチングシステム	—	—	7件	施設、老人会等から催しなどにボランティア団体からお願いした。	
その他	—	—	—	支援センター10周年記念誌「歩」(活動記録集)を発行した。	
	—	—	—	支援センターの管理運営や行事内容の紹介・展示、九州北部豪雨災害義援金募集、市内情報紙等への情報提供など	

# 相談等件数と分析

## 1. 相談項目と件数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

No	分類	相談等の内容	件数
1	マッチング	朗読、歌体操、塗り絵など福祉施設、老人会でボランティアをしたい。していただいた。	16
2	ボランティア活動をしたい	退職者・学生がボランティアをしたい。なんとなくボランティアをしたい。	14
3	支援補助金、協働事業に関する事	制度の内容、申請方法、制度の運営・活動について	13
4	当センターの使用・利用に関する事	センターは何をするところ、自治会のセンター利用、ラミネート利用、ロッカー管理など	6
5	団体運営・行事企画、団体立ち上げなど	団体の方向性・悩みごと、情報提供、支援協力要請（行事・講座、チラシ作成）、会員募集依頼、ボランティア要請など	6
6	「ガイドブック」掲載に関する事	「ガイドブック」の掲載方法、内容、書き方、手続きなど	5
7	自治会・老人会・子供会活動に関する事	自治会のHPの運営、自治会集会所の運営のアドバイス	5
8	助成金	団体設立、運営資金の情報提供	2
9	NPO活動、NPO立ち上げに関する事	NPO準備・立上たい、申請方法、会計処理、NPO情報・取り組み方・支援(融資)	1
10	他市より当センターの運営・事業など	わかやまNPOセンターと橋本センターとの事業イベントについて	1
11	広報・掲示、情報提供など	大阪府民カレッジ富田林の受講生募集に関して	1
12	その他	手続きの方法、報告書の書き方など	32
計			102

## 2. 所見

- 1) 受付簿に相談内容を記載し、また、相談・コーディネート部会等での相談内容の説明をするなどにより、情報交換ができた。
- 2) 昨年度(196件)より、相談件数が半減した。(一昨年は85件)
- 3) マッチングの相談が、年度後半より増加の傾向にある。対応にはボランティア団体との協力・調整が必要がある。

## 管理施設の利用状況(平成29年4月～平成30年3月)

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ミーティング&交流 スペース	427	313	309	380	395	286	345	213	228	249	305	321	<b>3,771</b>
ワークスペース	207	159	158	141	93	134	122	127	116	101	124	176	<b>1,658</b>
情報スペース	9	14	9	7	8	6	17	2	9	9	12	10	<b>112</b>
2階貸ブース	108	67	104	88	78	44	67	51	50	56	91	114	<b>918</b>
相談対応	16	18	7	11	5	4	8	14	2	6	12	11	<b>114</b>
施設見学・その他	250	218	247	238	231	216	196	207	243	224	1,008	219	<b>3,497</b>
合計	1,017	789	834	865	810	690	755	614	648	645	1,552	851	<b>10,070</b>

【参考】

平成27年度	平成28年度
3,968	3,571
1,887	1,909
212	177
/	/
105	196
4,893	6,208
11,065	12,061

## 市民公益活動支援センターの利用について 利用者アンケート 結果

まとめ：平成30年3月10日

回収枚数 72 枚

### 基本属性

性別	1.男性	36
	2.女性	36

年齢	1.～20代	0
	2.30～50代	8
	3.60代	31
	4.70代以上	33
	5.未記入	0

住所	1.市内	70
	2.市外	2
	3.未記入	0

用件 (複数可)	1.会議	28
	2.相談等	7
	3.印刷等	39
	4.紙折り機等	6
	5.情報収集	3
	6.貸ロッカー他	5
	7.その他	3
	8.未記入	7

### 管理・運営について

開館日時	1.良い	57
	2.普通	11
	3.要改善	2
	4.未記入	2

内容	1.良い	56
	2.普通	12
	3.要改善	1
	4.未記入	3

清潔さ	1.良い	51
	2.普通	19
	3.要改善	0
	4.未記入	2

充実度	1.良い	46
	2.普通	22
	3.要改善	0
	4.未記入	4

スタッフ	1.良い	66
	2.普通	5
	3.要改善	0
	4.未記入	1

### 利用スペースについて

ミーティング 交流	1.良い	33
	2.普通	21
	3.要改善	3
	4.未記入	15

ワーク	1.良い	33
	2.普通	27
	3.要改善	0
	4.未記入	12

情報	1.良い	20
	2.普通	28
	3.要改善	1
	4.未記入	23

貸ロッカー 貸ブース	1.良い	12
	2.普通	28
	3.要改善	1
	4.未記入	31

その他	1.良い	3
	2.普通	5
	3.要改善	1
	4.未記入	63

### 自由意見

- ・安価で利用でき感謝しています。
- ・夜に活動をしている。
- ・ボランティア団体なので、助かります。土・日も利用したいです。
- ・部屋を借りるのに予約して借りるほうが、安心なのですが…。
- ・いつもご苦勞様です。ありがとうございます。
- ・市民に種々のボランティア活動の存在を伝え、発展に尽力くださってます事をありがたく思っております。
- ・いつも便利に使わせてもらってます。
- ・るーぷらざがあって本当にありがたく思っています。
- ・もう少し広域活動をしていただきたいと思います。アピール不足に感じます。